

みんなと探す2人の〈しあわせ〉

～プラットホーム物語～



おじいさんとおばあさんは、2人で元気に暮らしていましたが、ある日突然、おじいさんが倒れてしまい介護が必要になってしまいました。



おばあさんは家で介護をしたいと思い、在宅介護支援センター¹に相談し、要介護認定を受けました。その後、ケアマネジャー²と相談した結果、介護保険を利用して週に3回2時間ずつ訪問介護サービスを受けることにしました。



ところが、介護以外にも困ったことがありました。今までおじいさんがやっていた庭木の剪定をやってもらえる人がいないのです。そこでケアマネジャーがボランティアセンターを訪ね、ボランティアコーディネーターに相談しました。



今まで対応しづらかったニーズにも応えられます。

既存の公的サービス(介護保険など)や無償のボランティアでは対応しにくかったニーズにも、有償の住民参加型在宅福祉サービスなその利用によりボランティアなどで応えられるのが

- ・趣味活動へのサポート
- ・介護者への支援
- ・継続的な生活支援
- (無償のボランティアでは対応しづらい)
- ・高い技術・技能が必要なサービス

いろいろな観点から担い手を選択できます。

ボランティアセンターでさまざまな情報を一括管理しているため、その情報を比較検討して希望に叶った担い手を納得いくまで探すことができます。

- ・サービス料金
- ・サービス提供時間帯
- ・実費負担の額
- ・技術力・資格
- ・実績

ボランティアコーディネーターは、おばあさんの希望を聞いて、登録している会員(個人、団体)から候補をあげました。いろいろと比べてみたおばあさん、その中からサービスを受ける団体を決めました。

1 在宅介護支援センター=在宅介護をしている家族が必要なサービスを利用するための相談に応じ関係機関・団体との連絡・調整を図りながら支援を行うところ。

2 ケアマネジャー=在宅で介護を必要とする人の相談や自立支援を行うための計画の作成などを行う介護支援専門員のこと。